

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	花とハーブで町を彩る修景促進とハーブの普及促進事業
事業主体 (連絡先)	池田町 (TEL: 0261-62-3127)
事業区分	(1) 地域共同の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	500,000円 (うち支援金: 375,000円)

事業内容

池田町は30年前より「花とハーブの里」としてまちづくりを進めてきました。しかし、時間の経過など様々な要因から町民の取り組みが停滞、改めて「花とハーブの里」を盛り上げる再ブランド化事業に取り組んでいます。

再ブランド化のための一事業として、四季折々に花やハーブの彩りや香りを楽しめる環境を町民とともに築き、美しい景観だけでなく温かいコミュニケーションの場を創出します。

また、花とハーブの里としての文化・風土の醸造を目指し、花やハーブの薬香を日常的に取り入れるきっかけとなるような事業を行いました。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 花とハーブ普及促進事業においてこれまでフォローできていなかった層を対象にした講座を計画していたが、本年度は委託計画者からの提案に至らず、またコロナウイルス対策により本年度の計画実施を断念した。
- ② 今年度の植栽イベントは池田町ハーブガーデン約154㎡のほか、新たにハーブ農園約500㎡への植栽を実施し、計44種900株の花とハーブ苗を町内外の方と共に植栽した。また、他イベントとの同日開催としたことで、各団体の情報発信により相乗的なPRを行うことができ、当日には約30名の飛び入り参加となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これまでに町が募り支援を行ってきた花とハーブに関する団体を主体とした持続的な花とハーブの里づくりを目指し、推進していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ハーブガーデン植栽の様子】

【目標・ねらい】

- ① 生活の中に自然と調和する「花とハーブの里」の文化・風土の醸造
- ② 町民主体の花とハーブ普及推進

※自己評価【C】

【理由】

ガーデン植栽イベントを合同イベントとしたことは今後の発展と継続に期待が持てるものだったが、参加者数が想定より少なかったため、より多くのコンテンツでのPRを図るべきだった。